

# イマヌエル教報

2017.

1

1947年7月1日第三種郵便物認可 2017年1月5日（毎月5日発行）

イマヌエル綜合伝道団

No.846

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒 1:8）

## 2017年 — 宗教改革500年と聖書

教団代表 藤本 満



今から五百年前、1517年の10月31日、マルティン・ルターがヴィッテンベルク城教会の扉に、当時のカトリック教会が行っていた贖宥状（しょくゆうじょう）／免罪符の販売を批判する九箇条の提題を貼り付けたことで、世界を変える宗教改革が始まりました。今年、この日を目指して、新しい聖書『新改訳聖書2017』が発行されます。イマヌエルの公式聖書として用いられるのは2018年1月からです。

\*

宗教改革は、聖書をもって教皇権力を批判し、礼拝と神学の改革を目指しました。その原動力は聖書の出版でした。さかのぼるところ、半世紀前にグーテンベルクが活版印刷技術を発明し、印刷所はすでにヨーロッパ全土に広がっていました。

人々がその日常言語で聖書を読むことができるように、みことばをもって中世カトリック教会の教えと実践の間違いを指摘しようと、聖書翻訳が各国で始まります。

宗教改革の前には英語の『ウィクリフ聖書』とチエコ語の『ボヘミア聖書』、ドイツ語の『ルター聖書』、スイス・ドイツ語の『チューリッヒ聖書』、英語の『デインダル聖書』、それに続く英語の『ジュネーブ聖書』。そうして礼拝の中心に聖書と説教が据えられ、聖歌隊のみの賛美に代わって、会衆賛美（コラール）がその国の日常言語で歌われていきます。

聖書という膨大な書物を本国語に翻訳することによ

って、またそれが浸透することによって、その国の言葉が洗練されていきます。つまり、わかりやすく、なおかつ格調の高い翻訳が求められ、それをを用いることが、最終的にはその国の文学言語さえも整えていきました。

\*

「新改訳聖書」が誕生したのは1970年です。それを前に、戦後、さまざまなプロテスタント教会・教派が乱立していた中で、ポケット聖書連盟の働き、グラーム大会の盛り上がりなどを通して、「福音派」という新しい交わりが生まれ、「聖書信仰」とは異なる考えの人々も翻訳陣に混じっていた「口語訳」とは違う、福音派による福音派の聖書が誕生しました。今から、47年前の出来事です。

3回に渡って版は改訂されましたが、その後、著作権をめぐって米国のロックマン財団と裁判があり、なすべき改訂ができずにここまで来ました。

\*

その裁判を超えた2000年を前後に、新改訳聖書の流れから、新しい聖書翻訳を生み出すことに私たちは取り組んできました。毎年思いますが、この年がみことばの年になりますように。今年はおのこと、そのことに思いを馳せています。

「人はパンだけで生きるのではない、神の口から出る一つのことばによる」（マタイ四・4）。みことばへの飢え渇きを与えてください。

2017年 — 宗教改革500年と聖書……藤本満……	1
局長、新年の展望・抱負……	2
教団運営委員会、第72次年会のご案内……	3
海外トピックス、国内局コラム、読書のひろば……	4
西日本ブロック近況、カナ・フェロシップ報告……	5
広げた翼……	6～8
聖宣神学院報……	9～11
公報、消息……	12

目次

# Immanuel

2017年 第二次組織改革を目ざす年

明けまして  
おめでとうございます



「あなたは、その年に、御恵みの冠をかぶらせ……」詩篇 65 : 11

多くのお祈りとお支えをいただき、新しい年のスタートを切る事ができました。教団創立70周年を期して、困難な状況を乗り越え、新たな展望をひらくためにさまざまに新たな取り組みが始まりました。昨年はその結実の一端を見ることが許され、感謝でした。今年も教団総会期の中間点に位置する年で、じっくりと課題に取り組むことのできる年に当たります。そこで、日ごろ教団の先頭に立って指導くださる局長の先生方へ「新年の展望・期待・抱負」を書いていただきました。

期待と展望

配給・祈り・みことば



総務局長  
北田 直人

「その人たちをこの仕事に当たらせることにします。そして、私たちは、もっぱら祈りとみことばの奉仕に励むことにします。」

(使徒六章)

毎週本部に出勤している牧師は、年五十日、教会を空けていることになりま。並行して、教団は牧師不足の課題に直面しています。また本部費が毎年百万円ずつ減少し、OCCビル修繕積立金が大幅に増額された中、ビルの建替えにも備えていかなければなりません。教会の働き、本部の働きをより良くするため、現況を見直すことが迫られています。

本部の仕事信徒の方に任せていこうとするとき、任せる人が継続的に与えられることが必要となります。また本部運営会計においてどう儉約できるか、検討する必要があります。事務所フロアの使い方も、再考する必要があります。使徒たちが配給とみことばの奉仕のことで対処できたように、これらの諸課題に対処できるようにお祈りください。

期待と展望 .....

愛の原点に立ち返り



国内教会局長  
内山 勝

「もし一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、もし一つの部分が尊ばれば、すべての部分がともに喜ぶのです。」

(Iコリント二・26)

教会の一体性というものは、頭で理解しているだけでは不十分です。これは、体験してはじめて分かる世界だからです。

共に苦しみ、共に喜ぶことには、当然、犠牲を伴います。自分のことばかり考えているなら、そのような状態で他者のために犠牲を払うことに、喜びを見出すことは不可能です。それは無駄なこと、損なことではないからです。

しかし、主イエスさまは、私のためにご自身のいのちをささげることによって、愛を教えてくださいました。すなわち、愛とは喜んで犠牲を払うことであり、その犠牲はもはや犠牲ではなくなること。

これが、家族レベル、教会レベル、そして教会間レベルで実行されるように願います。ご一緒に、愛の原点に立ち返りましょう。

期待と展望

神の御霊に動かされて



世界宣教局長  
梅田 登志枝

「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」

(使徒の働き八・26)

今年も三森邦夫、加寿子宣教師ご夫妻が引退されます。今後も日ボ福音教会との協力体制は継続されますが、教団からのポリビア宣教師派遣はひとまず区切りをつけることとなります。先生方のお働きに、また背後で支え続けてくださった皆様に感謝をいたします。

お祈りと献金を頂いたザンビア、ジェンボの宣教師館は完成します。医療活動のための生活拠点を与えられたことを感謝します。

宣教師ピリポは神の御霊に語られ、導かれて当時は荒野と言われるガザに出ていきました。それは神の示した道であり方向でした。そしてそこには真理を求める人がいたのです。

IGMの世界宣教も神が創設から示された方向を見誤ることなく、この年も取り組みたいと願っています。夏に持たれる若者中心のフィリピン宣教訪問団には、多くの参加者を待ち望んでおります。

期待と展望 .....

着実な前進を願い



教育局長  
林 正弘

「私たちの手のわざを確かなものにしてください」(詩篇九〇・17)

昨年、教育局各部の営みのためにお祈りとご協力をいただいたことを感謝いたします。今年もよろしくお願いいたします。教育部で提供している学びの機会を、牧師も信徒もさらに活用していただければ幸いです。信徒の方々がよりよく奉仕に加わっていただくために信徒伝道者養成課程の見直しも検討しています。

各部、特に青年たちが生き生きと活動できることを願っています。中高生キャンプ委員会の働きのためにお祈りください。3月には、昨年に続いてスタッフ・トレーニングキャンプを行い、夏には、第10回となる「とにキャン」を開催いたします。8月の世界宣教局による宣教訪問団に参加する青年たちの参加費支援を行います。11月にはYSB第3回全国トリートメントを予定しています。

その他、聖会時の各部の集会、地域での大会などが計画されています。ご参加ください。

教団運営委員会から……

### キリストにより同じ心、同じ判断を保つ努力

広報 川嶋直行



11月21日(月)と22日(火)、通常の会議より長時間をかけて、今年最後の教団運営委員会を開催いたしました。会議の冒頭、藤本満代表より、第一コリント一章10〜13節が開かれ、「キリストにあって、同じ心、同じ判断を保つ努力をしながら、インマヌエルの群れが直面する難局に対して、一致して対処して行きましょう。」とお勧めがなされました。

いつものように各部局から出された資料をもとに検討、確認がなされました。中心議題は、2020年までにインマヌエル教団が直面する牧師不足に、いかに対処して行くかということでした。国内教会局から提出された「国内教会 将来のビジョン」に基づいて意見交換が行われました。この「国内教会 将来のビジョン」につきましましては、来年の年会で取り上げられる予定です。

あっても、長期間継続して行くことには無理があるとの認識に立ち、これまでの一教会一牧師(夫妻)体制から、複数の教会を複数の牧師が担当するグループ牧会や、信徒伝道者の助けも借りながら、比較的大きな教会と小さな教会が姉妹教会となって支えて行く協力体制についても検討されています。距離が離れている等の理由で、インマヌエル教会同士が協力体制を取れない場合は、市内の近隣教会との協力体制を構築して行く必要性についても話し合われました。教団の第二次組織改革について、検討がなされました。従来のOCCビル建て替え工事等も考慮に入れながら、本部の体制や神学院キャンパス運用、BA制度を含む部局の再編成についても討議されました。運営委員会における信徒の議決権、信徒代議員や信徒運営委員の選出方法についても成文化して行く方向性で進んでいます。これらのテーマも、来年の年会で取り上げられる予定です。



#### 第72次年会のご案内

### 会場が新しくなります

## 共に聞き、共に呼ばれる年会に

総務局長 北田直人

「釈放されたふたりは、仲間のところへ行き、祭司長たちや長老たちが彼らに言ったことを残らず報告した。これを聞いた人々はみな、心をついに神に向かい、声を上げて言った。」(使徒4章)

#### ●日程・会場

今年の年会は、3月15日(水)の午後から16日(木)の午後までの1泊2日で行われます。

会場は、昨年12月に竣工式が行われたばかりの山崎製パン総合クリエイションセンター(千葉県市川市)です(礼拝堂は、池の上教会とOCCの支部、市川チャペルという位置づけです)。

宿泊はクリエイションセンターの宿泊棟、市川サンシティ、市川グランドホテルに分宿することになります。羽田空港からは1時間余り、東京駅からは約20分です。市川駅・会場間は徒歩でも10分程度ですが、集会の前後に送迎車を出すことを考えております。

#### ●プログラム

3月15日(水) 午後1時必着

午後 聖会Ⅰ(藤本代表)

夜 研修会

夜 議事会Ⅰ

神学院後援会設立総会

3月16日(木)

午前 議事会Ⅱ

午後 聖会Ⅱ(内山勝師)

教職按手式・任命式  
転任事務、教区主事会議

▽献児式は聖会Ⅰで行います。

▽研修会では、「ハラスメント」、「カルト」、「聖書」を取り上げます。

▽議事会では、「国内教会の将来のビジョン」、「神学院キャンパスと運営体制」、「本部体制」について取り上げます。今年も、年会資料を事前に送付いたしますので、目を通してご出席ください。

年会は、信徒の方々も参加することが出来ます。年会のためにお祈りいただくとともに、ぜひご参加ください。そして、諸課題を耳にされた信徒の方々とも、心を一つにして、主に呼ばれることができたなら幸いです。

本部では、今月から年会の諸準備が始まります。毎年、多忙となる本部スタッフのためにお祈りください。

### 国内教会局から

## 聖い教会を目ざして

### 教会総会を控えて

新年のヴィジョンを与えられ、みことばをいただきたい。前進を始めたところでしょう。早速教会総会を迎える月になりました。昨年の歩みを振り返り、主の満ち満ちた豊かさ感謝しましょう。そして主から受け



た幻を具体的にを見せていただきましょう。この時期、改めて自分の教会の特質や使命について、各々の地域に建てられた御心を確認する大切な時です。そのような時こそ、主がご自身をささげられたのは「教会をきよめて聖なるものとするためであり」「聖く傷のないものとなった栄光の教会を」「エペソ五・25〜27」見

据えておられたからだとの聖句を思い巡らす好機ではないでしょうか。パウロは主の十字架と教会の聖めを結びつけて福音を理解していました。この年ますます「聖い教会」を目指し、証しするお互いでありましょう。私たちの教会の扉が開くとき、地域に主の慈愛と聖さと正義とがあふれ出ますように。(葛田崇志)

「一世のため」創立、サンパウロ福音教会が50周年

ブラジル、サンパウロ福音教会が設立50周年を迎え、記念礼拝を11月18日、同教会で行なうと邦字紙「ニッケイ新聞」が報じた。

福音教会は1967年1月に設立記念礼拝を行なった。日本から宗像基氏を主任牧師に招き、当初から移住者のための日本人教会として日本語を主体とした伝道に努めた。日系キリスト教連盟加盟教会は80以上あるが、同教会は単立として近年50周年を迎えたルーテル教会、アライアンス教会に並ぶ歴史を持つ。現在の会員数は客員を含め約40人。一世の高齢化もあって平均年齢は70歳ほど。現在はトマス生まれの二世、日野忍牧師(50)が7代目主任牧師。

記念行事を終え日野牧師は「日本人教会という方針はなるべく崩したくない。でも世代交代も必要」と思いを語り、「これからも日伯をつなぐ教会として活動したい」



## 海外トピックス

と意欲的に語った。

■バチカンでクリスマスツリーの点灯式  
バチカン(ローマ教皇庁)のサンピエトロ広場で12月9日、毎年恒例のクリスマスツリーの点灯式

が行われた。共同通信が伝えるところでは、今年のツリーはイタリア北部トレントから贈られた高さ約25メートルのモミの木。イルミネーションで彩られたツリーの柔らかな輝きで、広場は華やかな雰囲気にも包まれた。

広場にはキリスト降誕の場面を再現した模型「プレゼピオ」も飾られた。こちらは地中海を渡って欧州を目指す難民や移民が多数到着するマルタから寄贈され、「難民を象徴する」という船の装飾がある。プレゼピオの隣にはイタリア中部地震で被害を受けたノルチャの教会の尖塔も置かれ、被災者への連帯が示された。

教皇フランシスコは点灯式に先立ち、迫害を逃れてきたイエスキリストを思い起こし「広場を訪れた人たちが、分かち合いや他人を受け入れる気持ち、団結を再発見するように」と、弱者に寄り添う思いを語った。(平瀬聡樹)

## 読書の

### ひろば



出版事業部から  
新しい年に読書のお勧め!

### デイポーションの書籍も

インマヌエル出版事業部

### ●デイポーションのために

新しい年のデイポーションの助けとなる良書を紹介いたします。  
『新しい朝に』『主を仰ぐ朝』(ジョン・T・シーモンズ著)は使徒の働き、四福音書を通じて、さまざまな霊想がなされています。『エマオの道で』(デニス・キンロー著)では旧約からバランスよく聖句が扱われ、日々に主の恵みの豊かさに触れることができます。これは一日一日を主にあって豊かに過ごすためにとても有益でしょう。

他に『朝毎に主を待ち望む』(葛田二雄著)『みことばに生かされて』(松村献一著)『聖書通読表』(ト

ラクト神との交わり)などがあり、デイポーションの学び、助けとなる

ります。いずれも一月末まで特徴となっています。

### ●新刊の紹介

新刊『恵みの風景』(河村從彦著)、『わたしと献身』(献身証し集)も好評発売中です。また、いのちのことは社の『エデンの物語』旧約の民が読んだ聖書』は旧約聖書が体系的に扱われた良書です。

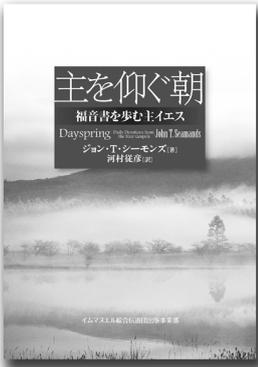
### ●電子書籍もどうぞ!

電子版の良書も発売されています。端末さえあればいつ、どこでも読むことができます。『エマオの道で』は三分冊で各二百円とお買い得です。『石から出る蜜』(葛田二雄著)、藤本満師の『祈る人々』(上下)、JHAの『聖化の説教』なども読むことができます。これはアマゾンで検索できます。

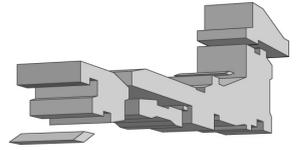
### ●その他

新年より教報購読者へのPDF版の無料提供サービスが始まりました。教報に掲載されるパスワードを用いて教団のホームページからダウンロードしてください。

また、『洗礼願書』『転会状』『会員原簿』も無料で提供いたします。こちらもホームページからとなります。紙版は今年から無料(送料別途)となります



# 国内教会局 スクエア



## 西日本ブロックの 近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー 田中 進

西日本ブロックは二つの教区からなっています。それぞれの教区主事が近況と祈りの課題をまとめてくださいました。今年も各教会を覚えてお祈りください。

▼近畿教区は2015年に旧大阪教区と旧近畿教区が合併し、近畿教区は現在15教会、27教役者からなります。

・牧師家族Ⅱ枚方教会の戸谷師ご一家は昨年7月にご次男の祈兄を天にお送りしました。豊中教会の木茂子師は昨年8月よりご自宅でリハビリ療養中です。

・兼牧教会Ⅱ京都西教会は、京都伏見教会の大兼久師ご夫妻が兼牧近隣教会の牧師も月に1、2度礼拝説教しています。昨年10月、大塚神学生が京都西教会にインターン派遣され、教員に温かく迎えられるています。加古川教会と姫路教会は植木師ご夫妻が毎聖日交替で両教会を牧会しています。

・救霊と教会建設Ⅱ昨年献堂した彦根教会では、昨年4月に関西ユース・ステーションが開催され、教区の青年達によってチラシ

じ保育園支部の働きを通して、救霊を目指しています。青年たちの信仰育成も大きな課題です。加古川教会と姫路教会は、家族の救いと新しい求道者の興起を祈っています。(教区主事・田辺寿雄)

▼中国教区は、岡山・鳥取・広島・島根・山口の5県に、8つの教会があります。一番古い教会が呉教会で、今年66周年となります。昨年、山口、呉教会は新会堂建築に取組まれました。

今年の中国聖会は、一日聖会で同じ日に、2か所で開催します。地域が広いので、ひとりでも多く出席され、聖会の恵みに与るために、全教会のご理解を頂き、初めて行ないます。この事が祝されるよう、お祈りしてください。

祈りの課題は  
◆新年、信仰と献身を新たに、み言葉で示された目標に向かって進歩した各教会が祝されるように。

◆これからの冬の季節、特に日本海側にある教会(鳥取・松江・浜田)は厳寒、降雪の日々となります。冬の必要が満たされ、冬の事故から守られますように。

◆各教会に子どもたち、青年たちが加えられ、救霊の結果が与えられるように。今 集っている子どもたち、青年たちがあらゆる事から守られ、霊的に成長するように。

◆キリストの体として整えられ、あらゆる事の中に、結実が豊かに見られる年となりますように。

(教区主事・内山忠信)

## カナ・フェロシップの報告 新しい形でクリスチャン・ホームの形成を目指します



中目黒教会 中山朝雄

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」(詩篇一〇三篇2節)

第1回カナ・フェロシップは、新しい出会いを祝福するかのような素晴らしい快晴の11月23日に52名(男性17名、女性35名)の参加者を迎えて開催することができました。結婚サポートとしての初めての試みでしたが、思いをはるか

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」(詩篇一〇三篇2節)

第1回カナ・フェロシップは、新しい出会いを祝福するかのような素晴らしい快晴の11月23日に52名(男性17名、女性35名)の参加者を迎えて開催することができました。結婚サポートとしての初めての試みでしたが、思いをはるか

第1回カナ・フェロシップは、新しい出会いを祝福するかのような素晴らしい快晴の11月23日に52名(男性17名、女性35名)の参加者を迎えて開催することができました。結婚サポートとしての初めての試みでしたが、思いをはるか

第1回カナ・フェロシップは、新しい出会いを祝福するかのような素晴らしい快晴の11月23日に52名(男性17名、女性35名)の参加者を迎えて開催することができました。結婚サポートとしての初めての試みでしたが、思いをはるか



に超えた神様の恵みを頂き、豊かな聖霊のお働きを感じる集いとなり、心より感謝し、主の御名を崇めております。

集会の第一部は、大嶋重徳(KGK総主事)・裕香ご夫妻により聖書の結婚観について、ご夫婦の絶妙な掛け合いにより語ってくださり、その後の交わりのための良き備えとなりました。第二部の会食とお交わりは、グループ別で自己紹介を行った後、フリー・トークキングの時を持ち、自由にお話しをしていただく時としました。最後に今後さらにお話しをしたい相手それぞれ3名書いて提出していただきました。今回の集いで出

会いができた兄弟が幸いな結婚に向けて導かれるようにお祈りに覚えていただければ幸いです。

参加者の方からは、思い切った参加して良かった、楽しかった、この様な企画をしてきてくれてありがとう、との感想を頂くことができました。

この企画は、信徒委員と先生方で昨年11月より祈りながら準備してまいりました。男性の参加者の少なさに対策を講じたりと課題がありました。主はすべてにおいて最善に導いてくださいました。今後さらに主に用いられる集いとなるように、参加者のアンケート等を参考にしながら改善していきたいと願っております。第2回目を今年6月17日(土)に中目黒教会で行います。お祈りください。ご参加をお待ちしております。

この企画は、信徒委員と先生方で昨年11月より祈りながら準備してまいりました。男性の参加者の少なさに対策を講じたりと課題がありました。主はすべてにおいて最善に導いてくださいました。今後さらに主に用いられる集いとなるように、参加者のアンケート等を参考にしながら改善していきたいと願っております。第2回目を今年6月17日(土)に中目黒教会で行います。お祈りください。ご参加をお待ちしております。

この企画は、信徒委員と先生方で昨年11月より祈りながら準備してまいりました。男性の参加者の少なさに対策を講じたりと課題がありました。主はすべてにおいて最善に導いてくださいました。今後さらに主に用いられる集いとなるように、参加者のアンケート等を参考にしながら改善していきたいと願っております。第2回目を今年6月17日(土)に中目黒教会で行います。お祈りください。ご参加をお待ちしております。

この企画は、信徒委員と先生方で昨年11月より祈りながら準備してまいりました。男性の参加者の少なさに対策を講じたりと課題がありました。主はすべてにおいて最善に導いてくださいました。今後さらに主に用いられる集いとなるように、参加者のアンケート等を参考にしながら改善していきたいと願っております。第2回目を今年6月17日(土)に中目黒教会で行います。お祈りください。ご参加をお待ちしております。

この企画は、信徒委員と先生方で昨年11月より祈りながら準備してまいりました。男性の参加者の少なさに対策を講じたりと課題がありました。主はすべてにおいて最善に導いてくださいました。今後さらに主に用いられる集いとなるように、参加者のアンケート等を参考にしながら改善していきたいと願っております。第2回目を今年6月17日(土)に中目黒教会で行います。お祈りください。ご参加をお待ちしております。

この企画は、信徒委員と先生方で昨年11月より祈りながら準備してまいりました。男性の参加者の少なさに対策を講じたりと課題がありました。主はすべてにおいて最善に導いてくださいました。今後さらに主に用いられる集いとなるように、参加者のアンケート等を参考にしながら改善していきたいと願っております。第2回目を今年6月17日(土)に中目黒教会で行います。お祈りください。ご参加をお待ちしております。

巻頭言

仕える者の姿



世界宣教局 野田 禎

佐古純一郎著「パウロと親鸞」の中に、このようなことが書かれています。ある大学の教授が佐古先生のところに来て「パウロは罪人の頭(かしら)だと言っている。傲慢な人ですね」と言いまし



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

http://www.immanuel.or.jp/world/

た。この教授は罪人の上に君臨していたように感じられたのでしよう。パウロはクリスチャンを迫害し、ステパノ処刑に賛同し、ステパノに石を投げる人たちの上着を預かっていた人です。しかし、ステパノは最後に「彼らを赦してください」と祈りながら息絶えたことをパウロは知っていました。佐古先生はその祈りがパウロの内にあっただろうと言っています。人がもし、「自分は、結構いい人」「あの人よりもまし」と思っていたら、イエス様の十字架の意味がまだよく分かっていないのだと思います。パウロは、最初は「月足らずで生まれたもの」次に「使徒の中で一番小さいもの」と言い、殉教が近くなったイテモテでは「罪人の頭」と言っています。

パウロは信仰とともに十字架の意味とありがたさがより深くなくなっていったのでしよう。それとともに彼が感じていたのは、神であるイエス様が人となって仕えてくださり、そして私(パウロ)を救ってくださったという感謝なのだと思います。 イマヌエル讃美歌180番に「赦されたり、赦されたり、罪人の頭 十字架の功により赦されたり」があります。この讃美は救われたばかりの時には、まだ理解できない讃美歌かも知れません。信仰生活を歩めば歩むほど、「ああ、神であるイエス様が人となって、仕えてくださり、十字架の死にまで従順であってくださった。何とありがたいことか。私は滅びるはずのまさに罪人の頭なのに」と感謝にあふれ、主のように人に仕える者になるのでしよう。そして、この大きなイエス様の愛を伝えたいかなるのではないでしようか。 新しい年、イエス様がこの世に来てくださり、仕えてくださった意味をにれはみましよう。主が十字架の死にまで忠実であってくださったことを思い出し、その主を見上げ、主が仕えてくださったように、互いに仕え合い、志一つし、福音を伝えて行くことが出来たら幸いだと思えます。私たちが通してもたらされる福音を待つている誰かがいます。すぐ隣にも、地の果てにも。そして、教会のため、牧師、宣教師のためにも祈りましよう。

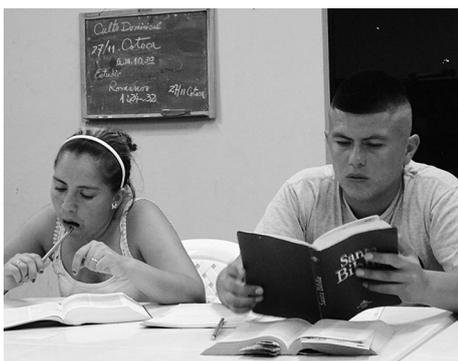


BOLIVIA

ボリビア

三森邦夫・加寿子\*2016年12月1日

「いま私はあなたがたを神とその恵みのみことばとに委ねます。」(使徒の働き二〇章32節) 皆様のお祈りとご支援に支えられ、ボリビアでの最後の期を終えて、9月10日の午後無事に成田に着き、日本での生活をはじめました。早速我孫子の市役所で転入届を済ませ、健康保険証を手に入れたり、健康診断を受けることが許されました。時々、逆カルチャーショックになりながらも3か月近くがたち、日本の生活にも慣れてきました。 10月の第1聖日から、11月の第4聖日まで巡回が続きました。行く先々で、いかに諸教会がボリビアの働きを覚え、熱心にお祈りしてくださったかが分かり、大きなお励ましを頂きました。インドを加えると、今年の10月で46年の宣教師としての働きのなかには、困難、危険、問題、課題などで、挫折しそうなこともありましたが、後になってみると、あたかも、何事もなかったかのように乗り越えてきたことを不思議に思います。今回、巡回しながら、諸教会のどこかで、誰かが、私たちのことを覚えて、お祈りの手を挙げていてくださったからなのだと頷かされました。 私たちがボリビアを後にしてから、エゼキエル、フェルナンドの二人の兄弟からそれぞれ良いニュースが入ってきました。二人とも、聖書の学びのグループを持っているのですが、それぞれのグループから、家族が礼拝に来るようになったということ。そしてフェルナンド兄のグループからは、仕事場で彼の下で働いている、ハイメという人が信仰を持ったということでした。信仰歴は短く、人間的に弱さもたくさんある彼らですが、これからのボリビア宣教を担っていく柱の役割を果たしてほしいと願っています。(写真は新しく集会に来るようになったエゼキエル兄の友人ホセ夫妻)





CAMBODIA

カンボジア

葛田緑乃\*2016年12月1日

11月7日、祈りの答えとして、遂に道が開かれたカンボジア直行便の座席に身を委ね、感謝の祈りを捧げて第2回目の宣教旅行に出発。追風のため予定より一時間早く飛行場に到着し、案の定、誰も迎えに出ておられませんでしたが、しばらくしてヴァンディ師とマーク宣教教師の歓迎を頂きました。土曜日に最初の巡回旅行に出かけ、信徒伝道師レアック師のサトウキビ農場の視察、夕方前に次の目的地、シエムリアップ地方の教会(アンコールワットの教会)に向かって出発。聖日礼拝でご挨拶し、その後すぐもう一つの開拓中の伝道所に向かいました。出席者は15名でしたが、聖書をもっている人は2人か3人、しかも無料で配布される小さな新約聖書だけでした。日曜日の集会でみことばを開かせて頂き、翌日の月曜日にも示されたみことばを開いて聖書を読むクリスチャンとなるようにチャレンジをさせて頂きました。



た。ちなみに聖書は旧新読むことが望ましいので、新約聖書を読み終えた方に旧新約聖書をプレゼントしますので頑張ってくださいと伝道者サムエル師に百ドル(聖書1冊分位)をお渡しすることができたのも大きな恵みでした。家に到着したのは9時半頃、長い道のりをドライブしてくださったレアック師に心からの感謝とご祝福をお祈りしました。間もなく帰国の時がきますが、まだまだ教会として自立するには時間を要する忍耐一筋のカンボジア宣教のため、特に経済的な戦いの中に信仰を学びながら戦っておられる現地の伝道者方に、救霊と教会建設のスピリットが燃え続けることを切にお祈り下さい。12月6日の帰国前に来週、29日に理事会(ボードミーティング)が持たれ、今後のために話し合いがもたれます。特に本部となる固定した場所が備えられるよう覚えてお祈り頂きたく願います。■



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世\*2016年12月6日

11月12~15日の日程で、今年最後の宣教訪問団、市川チームをお迎えして特別集會を持つことが許されました。午前には台中で礼拝を守り、午後には台南日本語集會にも出席するという強行日程です。午前と午後の2回の集會において、梅田登志枝先生がみことばを分かちやすく取り次いでくださいました。台中では、北村好司兄と北村正子姉が、台南では成澤正幸兄が証ししてください、また台湾ではまだ歌い慣れない教会福音讃美歌を特別賛美として、ご紹介くださいました。特に印象的だったのは、今回チームの來台のために、宿泊や日程の調整などの手配を担われた方が事前にケガをされ、包帯で腕をつたった姿でしたが、予定通りに來台され、ご奉仕くださいましたことでした。



我が家の子どもたちや教会の若い方々にとって、この姿はとても衝撃的だったようで、神さまのために奉仕するということに対して、今までにない大きな刺激とチャレンジを受けたようです。今年、日本の4教会から宣教訪問チームをお迎えする恵みを頂きました。また初めて家族で、一番近い日本・沖縄の聖會に出席する機会が与えられました。これらのことは、神さまからの大きな恵みのプレゼントでした。台中教会の一人ひとりにとって、台南日本語集會の一人ひとりにとって、わざわざ私たちのために、時を割き、お金をかけて來台してくださいました事実。証しや賛美、みことばと交わりの中に折々に出てくる、「いつも祈られている」「覚えられている」「このようになんかに支えられている」という事実を目の当たりにする時となりました。台湾のクリスマスは11日の台南日本語集會のクリスマス祝会から始まり、この一年の尊いお祈りと温かいご支援を心より感謝しつつ。■

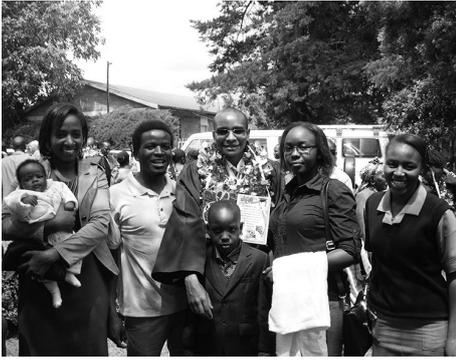
先月皮膚移植用の器械に付ける刃の報告をいたしました。刃を入手するのに尽力してくださった形成外科医師夫妻の奥様は看護師で、新人スタッフを中心に、毎早朝の30分を使って基礎的な手術室看護の講義をしてくださりました。以前講義を受けた人たちが次の世代に教えている事に励まされると仰っていました。これもなかなか気になりながら普段手が回らない分野ですので、本当に感謝でした。11月は看護学校とチャブレン学校の卒業式が執り行われました。4人の卒業生が既に手術室スタッフに加わっており感謝です。チャブレン校長はインマヌエル初代ケニア宣教教師田中先生の教え子です。夜中の2時、小児病棟で「あなたはチャブレンですか?」と呼び止められ、10歳位の少女に「洗礼を授けてください」と頼まれた事を紹介されました。地元の教会で受洗するはずが事情で受けられなかったとの事。心臓の病気の方



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子\*2016年12月6日



でしたが、夜中の2時に病床で洗礼を受け、色々な人に感謝と挨拶、お母さんに「キスして」と言って1時間後に天に帰られたそうです。日本でチャブレンというホスピスのイメージが強いかと思いますが、病院、学校、軍隊、刑務所など、様々な場所で必要があります。特に今年は、学校に不満を持つ中高生が学校や学生寮に放火する事件が全国で連続して発生し、その時人々が「チャブレンはどこにいるのか」と言っていたことが紹介されています。若い世代が多いケニアですが、彼らへの必要が繰り返し訴えられました。

12月に入りましたが、第一日曜日の夜から全国的規模で医師のストライキが予定されています。全国の国立病院が影響を受けるため、各地のミッション病院・私立病院が非常に忙しくなることが予想されています。お祈りをお願いいたします。(写真はスタッフに加わった兄弟とそのご家族) ■

**ZAMBIA**  
**ザンビア**  
富澤 香\*2016年12月4日

ジェンボに引越して一か月が過ぎましたが、まだ電気工事が終わっていません。電気会社の許可が出た後に不都合があるようなことを言われて、今後の電気会社の出方を見えています。今日も停電が10時間ぐらい続きました。それでも水が出るので感謝です。

昨日は、子供たちがトンガ語を教えてくださいました。私は中々覚えが悪いので申し訳ないのです。根廻宣教師がすぐキャッチして言えるので、私がすぐに彼らの発音を取らえられないことにはもどかしいようですが、忍耐して教えてくださいました。

ローレンスは、彼の首を支える椅子が手に入ったようで助けになっていると連絡がありました。それでも輸血が必要ですが、血液がなくなっているとも聞いています。少しでも早く血液が手に入るようにと祈っています。次に会えるのを楽しみにしています。 ■

**ZAMBIA**  
**ザンビア**  
根廻恵子\*2016年12月3日

11月に入りいよいよ雨季になりました。過去2年と比べると、降る時期や量が良好のようです。ジェンボに移って間もないですが、電気の供給が想像していたよりも難しい中にあることを感じています。今、隣人から電気をつなげさせてもらっている中で、電圧量が低く、さまざまな電化製品が使えない状況です。特に冷凍庫の十分な電圧がないことと、停電する時間が長いことで食品が凍らず、悪くなってしまっているような状況です。そのためバッテリーシステムを検討し購入へと踏み切りました。毎日、少しずつ綺麗にしてながら自分たちの居場所を作っています。時間がかりそうです。

クリニックのスタッフにも挨拶し、皆さんから暖かく迎えていただきました。引き続きお祈りいただければ感謝です。現在はルカサのピリグリムウェスレアンのカンファレンスに出席しています。 ■

- 会計報告11月分  
宣教献金 一、九〇一、六四二円  
月平均 一、四六三、九四〇円
- お祈りの課題**  
香港(鹿島)
- ◆ 新しい年、一人ひとりに与えられたお言葉の光の中、良いスタートが切れますように。
  - ◆ 広州で良い出会いがありますように。
  - ◆ 1月22日に予定している教会総会のため
  - ◆ ポリビア(三森)
  - ◆ ポリビアの教会の成長・発展のために
  - ◆ 神学部の子供たちの学びが祝福されるように
  - ◆ 私たちの霊肉の健康が守られるように
  - ◆ 巡回が祝されるように。
  - ◆ ザンビア(根廻)
  - ◆ 建築が神様の御業の現れように
  - ◆ 働き人が事故や過ち、病から守られるように
  - ◆ ジェンボでの生活でキリストの証人として居られるように
  - ◆ ザンビア(富澤)
  - ◆ ジェンボの生活と病院に早く溶け込むことができますように
  - ◆ プロジェクトの完成に携わりながらのクリニックの奉仕が、バランスよくできますように
  - ◆ ローレンスの回復のために
  - ◆ 台湾(平瀬)
  - ◆ この年を神様が守り導いてくださった感謝。4チームの特集への感謝
  - ◆ 聖誕節、続けて教会につながる

- ◆ 方々が与えられるように
- ◆ 子どもたちの学びと将来のため(明里・高一・勝大・小6です。)
- ◆ 私たち家族の健康と信仰のみ守りのため
- ◆ ケニア(鳥田就子)
- ◆ 新人研修会が行われた感謝
- ◆ 男性対象の聖書の学びが祝福された感謝
- ◆ 全国的な医師のストの影響を受ける各地のミッション病院の必要のため
- ◆ ファリピン(豊田)
- ◆ 新校長アレックス先生を迎えるの新学期の歩みのため。学生のため
- ◆ 事故、怪我、災害から家族が守られますように。
- ◆ 各聖書大学の霊的、財的、健康的必要が満たされますように
- ◆ カンボジア(鳥田緑乃)
- ◆ KCCの伝道者の霊的ケアが適切に進められるように
- ◆ KCCの根拠地として本部と青年の訓練所となる土地と建物を与えられるように
- ◆ 東京国際教会(鳥田康毅・由理)
- ◆ 創立60周年の年、来る新年年の標語「生根建造、作主門徒(キリストの中に根ざし、建てら、主の弟子になろう)」に向かつて進めるように
- ◆ 20年ぶりに立てられた6名の長老が、伝道者と共に教会を建て上げてゆけるように
- ◆ 第三期(2017年6月末まで)の締め括りの奉仕と、その後の方向が示されるように

# 聖宣神学院報



## Immanuel Bible Training College

### 牧された味は、忘れられない

院長 ● 河村 從彦

「炭火……があるのを見た」

(ヨハネ二・9)

人にどう評価されるかに縛られず、奉仕に向き合える前提には、失敗したときに牧された味があるのではないかと思えます。

ペテロにとって炭火とは、情けない自分を思い起こさせる(マルコ一四・67)、できれば見たくないものでした。人間は痛みを感じたくないのです、自分の罪や失敗の場面を避けようとしています。イエスさまはペテロをそこに導かれました。「急がれたな」という感じもありませんが、そこには牧される暖

かさが待っていました。

炭火とは、人格形成のプロセスで培った自分の幼児性や傷が凝縮されて象徴的に出た場面です。人よりもできることがあると、お願ひもされないのに人前に出てやっってしまうのがペテロですが、どのような気持ちからそれをしているのか、それが周囲にどのような影響を与え、受け手からどのような見られているのかを感じ取る感性がやや欠けていました。

他者のためと自分に言い聞かせてやっていることが、実は自分へのこだわり過ぎないこともあります。大祭司の中庭で自己存在が



火曜日には営繕の奉仕者が来てくださいます

脅かされる恐怖に襲われたとき、自己へのこだわりは徹底的に防衛され、他者への裏切りとなつて現れました。

イエスさまは尋ねられました。「今でもまだわたしを大切に思ってくれるか」。本当にありがたいことです。牧された味は決して忘れないものです。心の深いところに暖かいものとして刻み込まれます。人の気持ちや痛みを感じ取る感性は、救いや聖潔をハッキリ認識できるかとか、真面目に信仰生活を送って来たかということよりは、どういう意味でイエスさまと出会ったのかに影響される、実存的意味合いの強いものです。「牧しなさい」は、牧された味によって支えられているものです。恵みを伝えるとは、そういう正直さに生きることなのでしよう。

2017年

### 聖宣神学院入学案内

この春、入学審査受験を希望される方は、以下を読み、間違いないように手続きを行ってください。

- ◆ 出願資格 コースは、パンフレットやHPで確認してください。
- ◆ 出願書類 以下の書式一式を神学院宛請求してください。
  - 一、所属教会牧師推薦書 一通
  - 二、教会信徒推薦書 一通
  - 三、入学願書 一通
  - 四、健康診断書 一通
  - (いずれも聖宣神学院所定の書式)
  - 五、戸籍謄本 一通
  - 六、自筆履歴書(市販書式) 一通
  - 七、写真(履歴書に貼り付けたものの他にもう一枚) 計一枚
  - 八、最終学歴の学校の卒業証明書(本年見込みの者は、それに代わる書類) 一通
  - 九、最終学歴の学校の成績証明書(本年見込みの者は、それに代わる書類) 一通
  - 十、新生の証し(A4用紙横書き、長さは自由) 一通
  - 十一、召命の証し(A4用紙横書き、長さは自由) 一通
- ◆ 出願方法 志願者は出願書類の三十一をそろえて所属教会の牧師に提出してください。所属教会の牧師は一の所属教会牧師推薦書と二の教会

信徒推薦書を加えて封筒に封入し、簡易書留でご送付ください。

- ◆ 出願期限 2017年2月20日(月) 必着
- ◆ 審査日程 2017年3月6日(月)
- ◆ 審査会場 聖宣神学院
- ◆ 検定料 いただいております。
- ◆ 審査科目 書類審査、筆記試験(聖書、一般)、面接
- ◆ 合格発表 一週間以内に受験者宛に郵送で通知します。
- ◆ その他の注意事項
  - ▽所属教会の牧師と相談して出願してください。教会の承認を得て送り出されることは大切です。
  - ▽試験日には、普段使用している聖書を持参してください。
  - ▽主の召命の意味を心に留め、真実な教会生活を心がけてください。
  - ▽入学後の経済について所属教会牧師と話し合っておいてください。面接でお尋ねする場合があります。
  - ▽イムヌエル教会出身の方は、『イムヌエルの六十年』などを読み、教団の歴史と信仰について学んでおいてください。
  - ▽神学生納入金は、入寮生は月額3万円程度です。聴講生は科目数で受講料が決まります。その他、書籍代、交通費、食費など生活に必要な経費がかかります。入学金はありません。経済的な理由で学びが困難と思われる学生のためには奨学金制度(貸与)があります。

◆一年を振り返って思うこと

恵みをかぞえて

聴講生 秋田郁美

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くてくださったことを何一つ忘れるな。」

(詩篇一〇三・二)

2016年も終わろうとしています。昨年末は初めてBTCリトリートに参加して恵みのうちに終えることができました。この1年間を振り返ってみると、多くの祝福がありました。

まず1月に台湾の高雄にある、私の教会と同じ群れのフリーメソジスト中庄教会に訪問できたことは大きな喜びでした。礼拝の中で証しもさせていただき、主にある交わりの素晴らしさを味わいました。

3月の卒業式で4名の先輩方を見送り、寂しい思いもありましたが、4月には額田兄が入学し、有意義な授業が始まりました。長いように思えた夏休みもあっという間に終わり、9月には日本伝道会議に参加させていただきました。前期の竿代先生の宣教論の授業で今回の伝道会議の講師だったクリストファー・ライト先生の著書や『ケーパタウン決意表明』を扱っ

ていただいたおかげで一層意味深いものとなりました。

10月にはオープンキャンパスがあり、たくさんの方々に参加していただきました。今回のテーマ「神学生の召命とビジョン」を、神学生の証しを通して参加した皆さまにお伝えできたことが感謝でした。後期の授業も始まり、秋入学の竹内兄と斎藤兄の熱意に良い影響を受けています。11月の佐々木炎先生による「教会と福祉」の特別授業は福音の本質を考える良い機会を与えられました。

神学校は私にとって天国のようなどころです。いつかは出て行かなくてはいいませんが、もう少しばかりこの恵みに浴させていたきたいと思えます。許されるならば2017年もこの素晴らしい環境で学びを続けさせていただきたいです。

◆新しい学びが始まって

ついに入学が許されて

聴講生 斎藤純雄

「あなたは、わたしに従いなさい。」 (ヨハネ二一・22)

今年の後期の授業から、聴講生として聖宣神学院に入学が許されました。私は、昭和42年18歳で主の貴い御救いに与りました。その



林正弘先生の「小預言書」のクラス

年、ビリーグラハムの伝道大会が武道館を主会場として持たれました。教団総理であられた葛田二雄先生が実行委員長の重責を担われました。以来今年で49年になりました。その間一貫して深川教会の一信徒として、主の尽きることのない恵みとご真実に支えられて、今日まで導かれてまいりました。

救いに与り、主の素晴らしい恵みを知られ、諸聖会の最後に開かれる宣教会での、締めくくりに「主の召しははっきりしたらお従いします。」という欄に丸印がつけられ、ついにそれ以外の欄に○がつけられることはありませんでした。多くの先生方や当時の神学生の皆様にもどれほどたくさん祈っていただいたことでしょう。けれども、伝道者の勤めの大変さ、

自分の弱さと乏しさの思いから踏み出すことができません。やがて就職、結婚に導かれました。

8年前に信仰の良き伴侶者を主に返しし、世の仕事も無事全うさせていただきました。そして、最後に残された母もこの九月六日に九五歳で、精一杯の生活支援のもとで天に送らせていただきました。全ての枷が取り去られ、主の尽きることのない御臨在の恵みにお応えし、冒頭の主の聖言とこれまでの捧げられた多くの貴い祈りに押し出されて、今は大きな喜びと感謝をもって、貴い学びと訓練に邁進させていただいております。

◆新しい学びが始まって

ベビー・クリスチャン

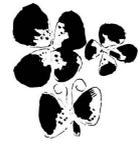
聴講生 竹内俊之

この度、聴講生として入学を許された竹内です。当初は昨年春入学を考えましたが、召命の確信を得られず諦め。しかし、秋の入学試験前になぜか、イエスさまがお父様として私の魂にほぼずつと、すぐ横にいらっしゃる感じ(運転教習所の優しい教官のような位置と立場に)で臨在され「としゆき。私だよ、イエスだよ。おとうさんだよ。色々あったね。辛かったね。

キミには私がいつもそばにいて、とても愛していることを知ってほしかった。大丈夫！キミの大好きなりえは天の御国で笑顔で待っているから安心して。かわい息子よ。おとうさんはキミに助けるとゆうか、少し力を貸してほしい。地上で生きてほしいことがあるんだ。大丈夫。キミのままでいいんだ。直ぐ斜め後ろで見守っているから安心して。困ったらいつものようにお祈りで伝えて。わたしのたいせつなことも、としゆき……。」こんな囁きが靈的に敏感になった私に聞こえて参りました。そして春に書けず諦めた「召命の証し」を短時間で書き上げ、苦手な筆記試験、試験の面接も主が導いてくださり答えが与えられ、感謝にも入学を許されました。高津教会の兄弟姉妹や藤本満先生には大いに助けられました。河村從彦先生や試験審査に来てくださった内山先生、田中先生、賛成してくれた我が親族、など……多くの方々を守り支えられ、感謝で一杯です。

さて、入学から1か月半が経過しました。入学前の不安は聖書を開いてやっと6年ゆえの「神学全般」の学びの浅さと靈的な訓練の年齢に不相応な大きな不足です。……標題のベビー・クリスチャンは信仰深かった妻に言うとおこられた言葉。でも、これからこそ主の前に赤子のようにでありたい。あなたを仰ぎ貴方の素晴らしさを吸収してゆきたいと思えます。

### 私の神学生時代 恩恵と憐憫によって 9期生 ● 佐藤道直



1960年(昭35年)3月、聖宣神学院を卒業して、伝道者として御任命を頂いて満56年9か月にあります。私は母の胎にいる時から教会に行っていました。字を読むことを教えられて最初に読まれたのが分厚い文語訳の旧新約聖書でした。毎日家拜で父母は5節、私は1節と「幼いころから聖書に親しんで」(IIテモテ三・15)恵みを頂きました。父は当初石川島造船所の研究員でしたが、ある日銀座教会の前を通りかかり、平日玄關の鉄の大扉が閉まっているのを見て、もし求道者が尋ねて来て牧師がいけないのではいけないと示され、戦火の只中、銀座教会に引越しました。そんな中で育った私は一度も神様の存在を疑った事はありませんでした。また、将来牧師以外のお仕事をするという考えもありませんでした。高校三年の時九十九里浜のHi・B・Aキャンプで救いの恵みにあずかり、キャンプファイアの火を囲みながら「主はいのちをあたえませり、われなにをなして主にむくいし」(イ讚59)の賛美のうちに、もし

私が伝道者として召されて一生運った一人でも救いにあずかる人が与えられたら幸いだと思つて恵みの座でお祈りしました。その後私は宣教師の教会に出席していません。高校を卒業して、はからずも母が丸ノ内の教会員でしたので聖宣神学院を受験しました。簡単な筆記試験のあと、二人の先生に面接しました。最初は大橋武雄先生でとても厳しくふるえる位でした。次は葛田二雄先生でした。廊下で大橋先生のコメントを覗き見ましたら、「まあまあ」と書かれていました。葛田先生のところで慰められました。主の一方的な憐れみのゆえに入学(予科)を許されました。当時の男子寮の寮監だった葛田眞實先生から「教会学校の生徒が入って来たようだ」と言われました。文字通りバイブル・トレーニング・カレッジで、朝5時半起床から生活の全領域の訓練を頂きました。学院時代の大きな恵みは「聖潔の経験」を頂いた事です。また週番制度の中で「絶対服従」を学ばせられた事です。後にこれは神様のみことばに絶対的に服従し、信頼するよい訓練となりました。未熟な私を愛と忍耐をもって導いてくださった先生方、特に10期生の方々には感謝しています。月曜夜の半徹夜の合同祈禱会では大声をあげて神様に注ぎ出して祈ることの素晴らしさを体験させて頂きました。天国の門をくぐるまで献身を全うすることができそうですようお祈りください。

### 同窓生の近況

38期生

岡山教会 ● 渡辺そのえ



卒業して神学院、大分、福島を経て岡山教会に九年目になりました。家族が与えられてからは主に外回り？担当で、学校や地域とのつながりに関わってきました。今は中学校区の運営協議会に入ってお手伝いをしています。

昨年初めて参加した「とにキャン」では、キッチンワーカーとして神学院スタッフ以来の大きな台所で楽しくご奉仕しました。少しだけ垣間見たキャンプの様子も興味深いものでした。

岡山教会は創立54周年を迎え、岡山市全体も教会の周辺も様変わりしています。小さな家が大きな大学生用のマンションに変わり、外国からの人たちが目につき……。でもほとんどそのままの近所の面々が話す「昔の教会の話」には歴代の先生方の名前や楽しい思い出が出てきて、私たちよりも教会のことを長く観てこられたのだなあと実感します。春には社会人となり県外に出たりして、家族が主人と猫2匹+αになる予定に「これから」を考えています。

### 神学院スタッフ…恵みの想起

### 2016年を回顧して

経理課 渡辺真理

神学院での私の2016年は、この年の学院産みかんのよう日々でした。この年のみかんは小粒の薄皮で、鈴なりのように実りました。多少虫に食われましたが、中身は守られて、いつもよりとても甘く美味しかったです。

神学院のみかんは、毎年大きさが甘さが違います。神学院の営みも同じで、学ぶ神学生や携わる人時代によって変化します。その中に身を置く恵みを、私は昨年ほど感じた時がありません。この年のみかんのように、一日の小さな変化を味わい、それを私は楽しみ、喜びことができました。一年となりました。新しい年が始まり、今年のみかんを楽しみにしつつ、この木をお育てになる神さまを見上げて前進したいと思えます。

### 学苑だより



- 謹賀新年 旧年中のお祈り・ご支援を心から感謝致します。本年もよろしくお願ひ致します。
- 1月は10日(火)から授業が再開されます。
- 後援会からのお願ひ 各教会で信徒のどなたかお一人に「世話人」になっていただきたく、各教会宛、依頼状をお送りしました。
- 世話人とは、神学院や後援会からの連絡などを教会の皆さまにお知らせいただいたり、また教会からのご連絡を神学院や後援会に伝えていただいたりする、いわゆる橋渡し役です。
- 世話人の方には、会長より「委嘱状」が送られます。
- 年会会期中、3月15日(水)午後8時~9時に、後援会の設立総会を行います。感謝をもって踏み出しをする記念式典です。お祈りください。
- 神学院祈り会は10日(火)です。

### サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。11月の会計報告をさせていただきます。

11月分支援実状  
〔今年度毎月献金目標〕  
¥2,000,000

教会員による  
「神学院サポート献金」  
¥981,315  
教会団体による「神学院献金」  
¥605,520  
合計 ¥1,586,835  
その他の献金(一時・特別)  
¥143,450

・振替：00230-0-10138

# 公報

## 本部通達

### 恭賀新年

「無慈悲、憤り、怒り、叫び、そしりなどを、いっさいの悪意とともに、みな捨て去りなさい。お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいて赦してくださいように、互いに赦し合いなさい。」(エペソ四・31、32)

2017年の年頭、世界では非寛容な考えや動きが、政治的・社会的に注目されるなか、主の愛による寛容さが、教団・教会・各個人を通して現され、あらゆる問題や課題を、愛をもって乗り越える力と恵みが注がれますように。各教会の新しい年の歩み出しに、主の導きと臨在と祝福が豊かでありますように。

### 〈新年聖会〉

各地域・各教会では、年頭に新年聖会が予定されています。共に主の御前に出て、霊的・信仰的な整備を整える時をもちましよう。

### ■本部

▽本教団に属するすべての教会は、条例第81条の定めに従い、1月中旬に新年度の「教会総会」を開催します。教会員は、所属教会の総会(昨年度教・財勢報告や承認、新年度の活動方針発表などがなされます)にご出席ください。また、各教会は年会資料となる「年報」を1月24日までに本部宛の提出を

お願いいたします。

▽本年3月の年会における牧師の転任が内定している教会に対して、お子さんの転校などの理由でその旨の内示がなされている教会も一部あります。牧師の交替にあつて霊的整えがなされ、教会が守られ、さらに成長していくことができま

すように、お祈りください。  
 (会議)  
 24日(火) 財務委員会  
 (決算書検討)

### 〈第72次年会の日程〉

本年3月15日(水)午後16日(木)午後まで、山崎製パン総合クリエーションセンター(千葉県市川市)での開催となります。新しい場所での短期間の年会となりますが、準備から当日に至るまですべてに主のみ守りがあるようにお祈りください。

なお、年会前日から市川サンシティ(山崎製パン企業年金基金会館)で、教育局主催の若手牧師研修会が行われます。

### ■総務局

2017年度の教団主要行事予定表を、昨年12月に配布致しましたが、変更や修正がございましたら、1月31日までに本部総務局(担当・佐藤信師)までお知らせください。

なお、第72次年会資料作成のため、各局・委員会・教区宛に、報告原稿をお願いしますが、締切は1月31日となっております。今回も年会資料の事前送付を考えておりますので、ご理解とご協力をお

願ひ申し上げます。

### 〈財務委員会〉

昨年の責任役員会において、2017年度の教団予算案が審議され承認されました。昨年度の本部費等(融資返済を含む)本部振替送金は、会計整理の都合上、1月20日までに手配をお願いします(教団4献金について)

今年も宣教活動推進のために、各教会で以下の諸献金への参加をアピールして頂ければ幸いです。

- ◆国内宣教献金
- ◆世界宣教献金
- ◆神学院サポート献金
- ◆厚生資金献金
- ◆世界宣教局

▽ザンビアの富澤香宣教師、根廻恵子宣教師は、昨年11月にジェンボに移られ、新しい地での奉仕に就かれました。宣教師館もほぼ完成しました。これまでの皆さまのお祈りとご支援に心から感謝しつつ、引き続き新しい環境での働き

のためにお祈りください。  
 ▽昨年末に世界宣教局から「2017年フィリピン宣教訪問団」の募集案内を各教会にお送りしました。要綱をご覧ください。特に青年には参加費支援もありますので、奮ってご参加ください。

▽IWF関係  
 ▽アンドレア・スワトアウト宣教師は、1月中帰米されて、健康調整の後に、再赴任の予定です。

■教育局  
 ▽スタッフトレーニングキャンプ(とにキャン関係)

▽スタットトレーニングキャンプ

日程:3月20日(月)~21日(火)会場・聖宣神学院  
 ▽今年も8月8日(火)から11日(金)にかけて、全国中高生「とにキャン」が開催されます。講師はK GK主事の大島重徳師、テーマは「変わりたRevolution」、会場は聖山高原キャンプ場です。今からぜひともお祈りとご協力をお願いします。

■聖宣神学院  
 ▽BTC後援会からのお知らせ  
 各教会で信徒のどなたかお一人に「世話人」になっていただきたいと願っています。内容については「学苑だより」もご参照ください。

第3回推進委員会 24日(火)午後6時、本部会議室で行います。  
 ▽後援会設立総会のお知らせ 3月15日(水)午後8時~9時(年会会期中)。お祈りください。

▽神学院祈り会は、10日(火)午後6時、本部会議室。担当は内山勝先生。  
 ▽入学審査は3月6日(月)、願書提出期限は2月20日(月)必着です。受験を考えておられる方は、出願書類一式を請求してください。本誌掲載の「聖宣神学院入学案内」をあわせて読み、間違いないように手続きを行ってください。

■出版事業部  
 ▽教報購読者には、1月号よりPDF版も無償提供することになりました。以下のパスワードを用いて教団のホームページからダウンロードできます。【パスワードは114120】

# 消息報告



▽呉教会は、新会堂が完成し、12月26日に移転しました。新住所は737・0051 呉市中央6-7-27となります。電話番号に変更はありません。  
 ▽昨年11月に引退された横山容子先生の新任所は以下の通りです。737・0045 呉市本通4-3-21-606 呉ベタニアホーム

▽林栄忠師(船橋教会)は昨年12月半ばに乳がんの手術を受けられました。術後の回復のためにお祈りください。  
 【年会スケジュール】

第72次年会 スケジュール (3月15日~16日)

	15日(水)	16日(木)
午前		議事会Ⅱ
午後	12時 受付 13時 必着 聖会Ⅰ 献児式 研修会	聖会Ⅱ 教職授手式 任命式 転任事務 教区主事会議
夜	議事会Ⅰ 神学院後援会設立総会	

会場は山崎製パン総合クリエーションセンター(市川) 集会はすべてオープンです。信徒の方もぜひご参加ください。

\*年会準備祈禱会は2月6日(月)午後2時からOCC4階411会議室で行います。

発行人 藤本 満 編集者 北田直人 印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇〇CCビル イムマヌエル綜合伝道団本部 郵便振替 001107133609 新生宣教団 定価 一部〇〇円(税込)